



緊急輸送基地となったモーターボート競走場

災害時の
緊急輸送基地について

問 緊急輸送基地の中心基地は市役所からモーターボート競走場に変更したが、耐震性に問題のある体育センターが予備中心基地のままなのはなぜか。

答 市の施設には代替施設がなく、変更しなかった。市の施設以外の活用も検討しているが、災害時に長期の使用は難しいと考えている。

竹内滋泰（自民党市議団）

公共施設マネジメント
実施計画について

問 地区利用型施設について伺う。

答 地区利用型施設は、学校に子育て支援機能、高齢者向け機能などを集約し、子育て、高齢者のレクリエーション、防災活動など多様な活動ができるよう整備することで地域コミュニティの維持・活性化につなげたいと考えている。

どの学校に、何の機能を集約するかは、平成29年度以降、地域の皆さんと協働で中学校区ごとに順次、地区個別計画を策定していく。

市民病院の
安定経営について

問 あま市民病院が指定管理者制度を導入することのことが、蒲郡市民病院の経営形態の見直しは。

答 地方公営企業法の一部適用を継続したいと考えているが、全部適用や地

方独立行政法人化など他の経営形態についても、引き続き研究をしていく。

尾崎広道（自由クラブ）

市職員の働き方改革は

問 働き方改革を進めるために必要なことは何か。

答 管理職を中心に効率的な業務運営やワークライフバランスに資する取り組みを行った者を適切に評価し、長時間労働よりも業績や業務の改善・効率化を評価する職場環境を実現することが必要であり、これらのメリットを発信し続けていく。

また、優れた取り組みの見える化、例えば職員表彰なども必要だと考えている。



道路の利便、
安全性について

問 形原町の音羽交差点、形原港町交差点、西蒲町の馬相交差点を歩車分離式信号にすることについて、市の見解と対応を伺う。

答 特に交通の安全を確保すべき交差点として地元からの要望があれば、蒲郡警察署を通じて公安委員会に歩車分離式信号の導入を要望していきたい。

伴 捷文（自民党市議団）

経済産業の活性化を

問 産業の振興には、既存の地場産業の活性化に加え、新産業の育成、市と商工会議所の連携体制の強化が必要ではないか。

答 新産業の創出は、創業者による場合や、市内既存企業の新事業分野への進出など、その主体も内容も広く可能性を秘めており、産業振興にとって重要だと捉えている。これまで以上



に商工会議所との連携体制を強化し、協調して産業振興に取り組んでいきたい。

問 新産業を育てるため、商工会議所が設立するイノベーションセンターとはどのようなものか。

答 異なる仕事を持つ人が集まり、情報やアイデアの交換などコミュニケーションを図ることで新しいアイデアが生まれ、イノベーションをもたらし働き方のための共有スペースを設け、市内創業者・第二創業者の事業立ち上げを後押しする拠点を想定している。